



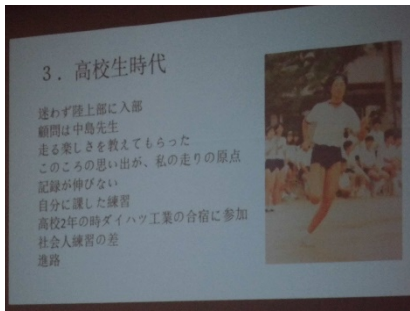

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福岡県】

学校名【水巻町立頃末小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	3学年～6学年児童、保護者 （計202名）
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（総合的な学習の時間）</p> <p>② 行事名（オリパラ講演会）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 （ねらい）	オリンピック・パラリンピックに関する講演を通して、オリンピック・パラリンピックに関する興味・関心を高めるとともに、困難に打ち克つ強い意志を養う。
5 取組内容	<p>1月20日 オリパラ講演会</p> <p>講師 西日本短期大学駅伝部監督・一般社団法人 R-WAN 代表 小嶋 由水氏 （ 1992年 バルセロナオリンピック マラソン代表 ）</p> <p>演題「人生走快」</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>

	<p>バルセロナオリンピックの女子マラソンに出場した小嶋 由水氏をお招きし、「人生走快」という演題で講演をしていただいた。</p> <p>その中で、小学校、中学校、高校、社会人時代それぞれに苦労したことや努力したことを中心に話をされた。また、「オリンピック出場決定後に、不調に陥り、不安になった際に中学校時代の部活動顧問が海外の合宿地まで来てオリンピックで走る意味を教えていただいた。」というような体験談が多く、児童にわかりやすい話であった。</p> <p>なお、小嶋氏が一貫して言われていたことは、「一人で悩むことはしないでほしい。」「相談できる人に相談してほしい。」「失敗は誰でも必ずする。」「失敗を恐れなくてほしい。」ということであった。</p>
6 主な成果	<p>困難なことがあっても、あきらめずにやり遂げたいという感想が多く、困難に打ち克つという強い意志が芽生えたようである。</p> <p>また、両親やお世話になった人に感謝することの重要性に気づいた児童が多かった。</p> <p>さらに、目標を実現するためには、継続した努力が必要であることを認識した児童が多かった。</p> <p>その他、「オリンピックに出場するのはすごい。」や「東京オリンピックが楽しみである。」などオリンピック・パラリンピックに関する記述が多くあり、オリンピック・パラリンピックに興味・関心が高まったと考えられる。</p>
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>オリンピックに出場経験があるアスリートを招聘したことで、読書やテレビ視聴などでは感じ取ることが難しいその人の生の思いや迫力も感じ取ることができ、児童の心に響く講演会となった。</p>
8 主な課題等	<p>日程の調整が必要である。講師の方のできる日が限定されるので、早めの調整が必要である。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>来年度は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるので、さらにオリンピック・パラリンピックに関わる学習などを行うことで興味・関心を高めていき、学校全体でオリンピック・パラリンピックを応援するようにしていきたい。</p>